

上マージン
20mm

論文

タイトルには、「特殊文字、機種依存文字、ギリシャ文字、「～」などの文字は使用しないで下さい。

ヘッダー文字は消さないでください。

14 回道路橋床版シンポジウム論文報告集 土木学会

ゴシック 14pt

左マージン
20mm

第 14 回道路橋床版シンポジウム和文原稿の作成例

左寄せ 1 マスあけて、「論文」もしくは「報告」のいずれかを記入してください。

(1 行あける)
土木太郎*†, 構造花子**
(1 行あける)

タイトル、著者、所属は
いずれも **中央揃え** とし
てください。

*工博, 土木大学教授, 工学部土木工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目)

** 工博, 建設大学准教授, 工学部建設システム工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目)

(1 行あける)

アブストラクト部の左右
マージンは本文よりも
25mm 余分に

このファイルは、第 14 回道路橋床版シンポジウムの和文原稿テンプレートとなります。以下のフォーマットに従って原稿を作成してください。用紙は A4 サイズで頁数は「論文」6 ページ、「報告」4 ページまたは 6 ページです。原稿の PDF ファイルサイズは 4.0MB を超えないようにしてください。本文は、上に指示するマージンの内側に、総幅 52 文字を 25 文字+スペース 2 文字+25 文字の 2 段、50 行で作成するものとします。文字フォントに関しては、次章 3. に示すように章、節、項の見出しはゴシック体 10 pt で記載し、本文に用いる文字サイズは、明朝体 10 pt とし、アルファベット及び算用数字については Times 10 pt とします。

アブストラクト部の左右
マージンは本文よりも
25mm 余分に

キーワード: A 4 判, キーワード記法

(2 行あける)

明朝 (斜体) 10pt

明朝 (英数字 Times) 10pt

1. タイトル部分のレイアウト ← ゴシック 10pt

(1 行あける)

タイトルページのフォーマットはこの作成例に従って作成してください。ページは A4 サイズとし、1 行目には左寄せで 1 マスあけてゴシック体 14 pt の文字で原稿種別 (論文もしくは報告) を記載してください。原稿種別の定義は、次節の注意事項を参照してください。

和文のタイトル文字にはゴシック体 14 pt を使用してください。以下、著者名、所属を上例に従って明朝体 10 pt また英数字は Times 10 pt の文字を使用して作成してください。なお、次節に示すタイトルに関する注意事項を遵守してください。タイトル、著者名、所属はいずれも中央揃えとしてください。

アブストラクトは、所属の下 1 行あけて明朝体 10pt また英数字は Times 10pt の文字を使い、10 行以内かつ 200 字程度の長さで記載してください。アブストラクト部の左右マージンは本文部分の左右マージン (20 mm) よりも 25 mm 程度余分にとってください。

キーワードは日本語で 3, 4 個記載し、明朝 (斜体) 10 pt の文字を使用してください。

(1 行あける)

1.1 タイトルに関する注意事項 ← ゴシック 10 pt

1 行目に記載する原稿種別 (論文もしくは報告) の定義は以下とします。

論文: 学術的または技術的に価値のある論文で、実証的な研究・技術成果、あるいはそれらを統合した知見を示

すものである。新規性や発展性のあるもの、また論文としての体裁を整えているもの。未発表のものに限る。

報告: 技術的価値が高い、または資料として有用性のある工事や調査報告、事例紹介などを含むもの。未発表のものに限る。

タイトルには、「特殊文字、機種依存文字、ギリシャ文字、「～」」などの文字は使用しないでください。タイトルが 2 行にまたがる場合は、区切りのいい文節、語句で段落わけしてください。

ゴシック 10 pt

(1) 著者名、所属に関する注意事項 ←

著者名は、姓名を日本語で記載してください。主著者を先頭とし、共著者は最大 5 名までとしてください。所属は、各著者名の右肩に付した* (アスタリスク) の数に対応する脚注とし、「学位、勤務先名、所属部署 (所在住所)」の順に記載してください。

(1 行あける)

2. 本文のレイアウト

(1 行あける)

本文は、上に指示するマージンの内側に、総幅 52 文字を 25 文字+スペース 2 文字+25 文字の 2 段、50 行で作成するものとします。文字フォントに関しては、次章 3. に示す章、節、項の見出しはゴシック体 10 pt で記載し、本文に用いる文字サイズは、明朝体 10 pt、及び算用数字については Times 10 pt とします。

(1 行あける)

3. 見出し (見出しが 1 行以上に長くなる場合には、この例のように折り返してください)

(1 行あける)

左側に
2.06mm
の空き
あり

† 連絡著者 / Corresponding author

E-mail: hanako@kensetu.ac.jp

初回投稿時はページ番号を付ける

見出しのレベルは章、節、項の3段階までとしてください。それぞれの番号には、**4. 章の番号 4.1 節の番号 (1) 項の番号**のようにゴシック体を用いて指定してください。章の見出しは、**下マージン 25mm**、**右マージン 20mm**、節の見出しは、その上のみ1行あけることを原則とします。ただし、ページや段が切り替わる部分は、見出しが最上部に来るように調整してください。

(1行あける)

4. 数式および数学記号

(1行あける)

数式および数学記号は次の式 (1a)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \quad (1b)$$

のように本文とは独立している場合でも、 C_d 、 $\alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成してください。本文中に出てくる数式および数学記号は、そのサイズを本文の文字と同等のものとしてください。

(1行あける)

5. 図、写真および表

(1行あける)

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページにおき、直接本文中に描画することを原則とします。また、図表は、ページの右上または左上にまとめて、図が文章の間にはさまらないような配置としてください。図は、例えば図-3とし、図のタイトルとともに図の下に、表は、例えば表-2とし、表のタイトルとともに表の上に表示してください。図、写真および写真の番号、およびタイトルは、それぞれ明朝(またはTimes) 10ptの黒色で記載して下さい。図・写真および表の本体はカラーでもかまいません。論文報告集(DVD)には投稿いただいたカラー印刷のPDFファイルが収納されます。

(1行あける)

6. PDF ファイルの作成

(1行あける)

Acrobat Distiller または Adobe PDF (アドビシステム社: Adobe Acrobat に付属) を使用し、全てのフォントの埋め込みをして作成した PDF ファイルで投稿してください。PDF ファイルの容量は、4.0MB 以下としてください。PDF

表-2 表の作成例

| 試験体番号 | 板厚(mm) | 板幅 (mm) |
|-------|--------|---------|
| 1 | 12 | 100 |
| 2 | 15 | 200 |

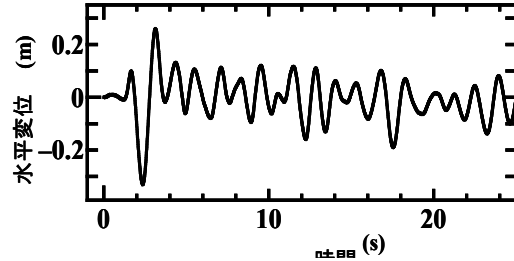


図-3 図の作成例

ファイルへの変換後に一度印刷して、原稿のイメージが変わっていないかを必ず確認してください(とくに図表の色彩、点線・斜線の表示などに注意)。

(1行あける)

謝辞

謝辞を記載する場合には結論の後に記載して下さい。タイトル「謝辞」はゴシック体 10pt で記述し、謝辞の内容は明朝体(または Times) 10pt で記載して下さい。

(1行あける)

本文は、参考文献で終わるものとし、もし、付録を置く場合には、参考文献の前に置いてください。最終ページは、2 段組の両側の高さをなるべく同じ高さとしてください。参考文献は、この例のように、上付き右括弧付き文字で指定します。参考文献の最後に論文の投稿受付締切日である **2026年7月17日** 受付と両括弧をつけておいてください。

(1行あける)

付録

(1行あける)

参考文献 ← ゴシック 10pt

- 1) Dafalias, Y. F. and Popov, E. P. : A model of nonlinear hardening loading, Acta Mecha., Vol.21, pp.173-192, 1975.
- 2) Y.C. ファン (大橋義夫, 村上澄男, 神谷紀生共訳) : 固体の力学/理論, 培風館, 1970.12.
- 3)

明朝 (英数字 times)
10pt

(2026年7月17日受付)

最終ページの左右の段落はできるだけそろえて終わる

論文の投稿受付締切日予定日である (2026年7月17日受付) と記入してください。